# 第6章 地域別構想

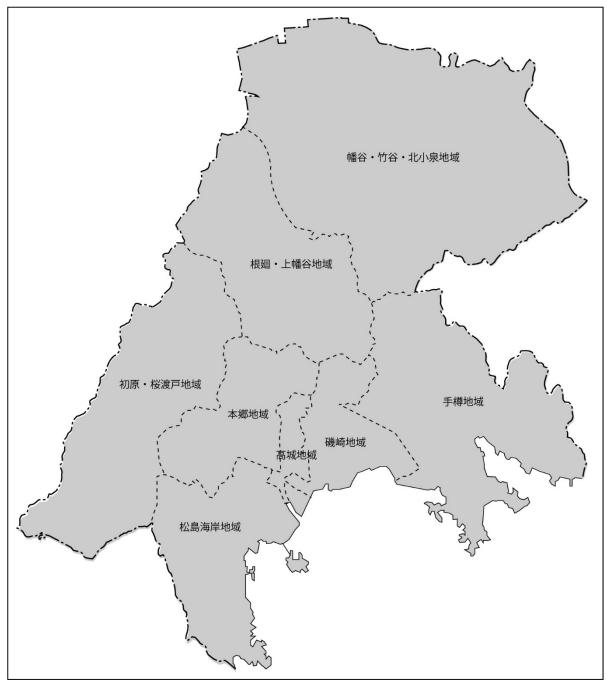
# 第6章 地域別構想

地域別構想の地域区分、各地域別の構想を以下に示す。

## 6-1 地域区分

本計画における地域別構想の地域区分は、地域としての一体性やまとまりが備わり、住民等にも理解されやすい区分として12の大字を基本構成単位として、一部将来の土地利用や地形等を考慮して次の8地域を設定する。

# 【地域区分図】



# 【地域の特徴】

地域	特徴
松島海岸地域	松島海岸地域は、五大堂や瑞巌寺をはじめとする歴史的な建造物が多く分布し、古いまち並みの名残りがみられ、海岸部を中心に国際観光都市の拠点となる観光商業地等が形成されている。地域内にはJR東北本線・仙石線の松島駅と松島海岸駅が立地し、海岸に並行して国道 45 号が南北に縦断している。交通の利便性は高いが国道 45 号の渋滞が課題となっている。
高城地域	高城地域は、高城町商店街を中心に古くから商業拠点を形成しており、 8地域の中で最も狭い地域であるが、磯崎地域に次いで人口が多く、人口 密度が最も高い。近年は、閉店した商店も目立つようになり、住民の日常 生活の拠点として、商業の活性化や買い物環境の整備等が課題となって いる。
磯崎地域	磯崎地域は、土地区画整理事業により整備された住宅団地が立地しており、8地域の中で最も人口が多い地域である。沿岸部には漁業関連施設が立地しており、漁業と漁業関連産業が盛んな地域となっている。一方で、地域東部には優良な田園地域が分布しており、松島湾をはじめとする自然の恵みと緑豊かな住環境を保全していくことが課題となっている。
本郷地域	本郷地域は、地域東部の高城川沿いにJR東北本線と国道 45 号が南北に縦断しており、平坦地に市街地が形成されている。地域北部の愛宕駅に近接して、松島中学校、松島第二小学校が立地し、高城川を挟んで松島運動公園が整備されている。国道 45 号の沿道土地利用の適正化や愛宕駅周辺の交通ポテンシャルを生かした土地利用のあり方の検討が課題となっている。
手樽地域	手樽地域は、北部は丘陵地となっており、南部は松島湾に面した入り組んだ海岸で、各所に漁港が形成されている。JR仙石線が地域南部を東西に横断し、手樽駅と陸前富山駅が立地している。漁業の振興に努めるとともに、松島湾沿岸の良好な自然景観の保全・活用を図ることが課題となっている。
初原·桜渡戸地域	初原・桜渡戸地域は、山地からなる南北に広がる地域で、地域内を主要地方道仙台松島線と三陸縦貫自動車道が縦断し、沿道の平坦地に集落が形成されている。良好な自然環境を有する里山を保全するとともに、松島大郷 IC や隣接する本郷地域の愛宕駅に近接する交通利便性を生かした新たな産業拠点の整備検討が課題となっている。
根廻·上幡谷地域	根廻・上幡谷地域は、山地を中心とした南北に広がる地域で、地域南部を国道 45 号が東西に横断し、地域中心部を国道 346 号が南北に横断している。地域内には町民の森や保健福祉センターが立地するほか、品井沼干拓と高城川の歴史に関わりの深い明治潜穴・元禄潜穴(ずり出し穴)等の地域資源が点在している。豊かな山地等の自然環境を保全するとともに、国道 45 号や松島北 IC に近接する地区では、交通利便性を生かした新たな居住環境の整備・保全の検討が課題となっている。
幡谷•竹谷•北小泉地域	幡谷・竹谷・北小泉地域は、地域の北部を吉田川が西から東に流下し、 その沿岸部の平坦地では豊かな農地が広範に分布している。JR東北本 線が南北に走り、品井沼駅が立地するほか、元禄潜穴(穴頭)等の地域資 源が点在している。吉田川の河川氾濫等の未然防止に努めるとともに、品 井沼駅周辺における既存集落の維持・保全、その他集落における日常生 活の利便性の維持・向上に努めることが課題となっている。

#### 6-2 松島海岸地域

#### (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆松島湾の西側に位置し、松島湾に接する比較的平坦で狭小な市街地と 市街地の西側の緑に覆われた丘陵地で形成されている。
- ◆市街地部には、瑞巌寺等の歴史的建造物や歴史あるまち並み等が多数 分布し、海岸部では松島海岸公園や観光商業地等が形成されている。
- ◆地域内にはIR東北本線・仙石線が通り、松島駅と松島海岸駅が立地し、 海岸に並行して国道 45 号が南北に通過している。
- ◆海岸部は、東日本大震災において津波の被害を受ける。



#### 人口・世帯数 (住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 2,112人 ◆世帯数 830世帯 ◆世帯構成人員2.54人/世帯

平成26年 ◆総人口 2,095人 ◆世帯数 828世帯 ◆世帯構成人員2.53人/世帯

- 平成27年 ◆総人口 2,048人 ◆世帯数 830世帯 ◆世帯構成人員2.47人/世帯
- 平成28年 ◆総人口 2,001人 ◆世帯数 814世帯 ◆世帯構成人員2.46人/世帯

- 平成29年 ◆総人口 1,983人 ◆世帯数 822世帯 ◆世帯構成人員2.41人/世帯

#### 土地利用

- ◆市街地海岸部は、松島海岸公園等の公園緑地及び観光商業地で形成されている。
- ◆市街地の丘陵地と海岸部の中間部は、住宅地及び商業地で形成されている。
- ◆丘陵地は、おおむね緑地で形成されている。

#### 交通

|主要道路|| ◆国道45号|| ◆一般県道赤沼松島線|| ◆一般県道小牛田松島線|| ◆町道松島パノラマ線

公共交通 〔鉄道〕 ◆JR仙石線松島海岸駅(乗車人員1,017人/日)※平成28年「東日本旅客鉄道仙台支社」調べ

「バス〕◆町営松島西線(5便/日)

#### 法規制

◆文化財保護法による特別名勝松島保存管理計画 ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民 区域

有林

◆自然公園法による県立自然公園区域

◆その他(保安林、十砂災害(特別)警戒区域等)

#### 都市計画

◆都市計画区域(一部市街化区域(用途地域指定有り))

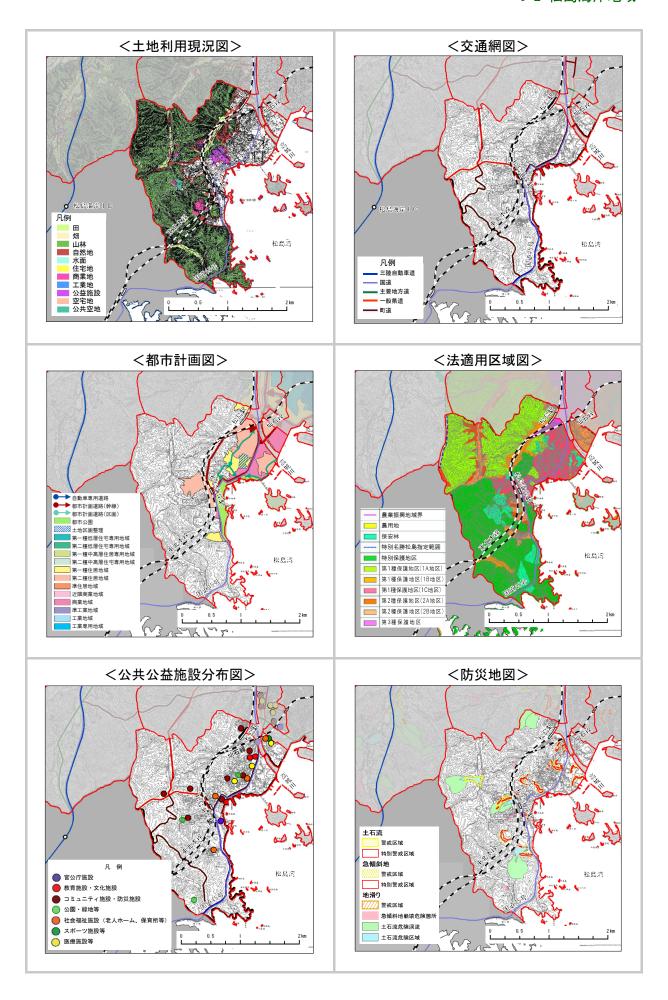
#### 都市計画道路

- ◆3.5.401松島海岸線(概成済) ◆3.5.406浜通線(整備済) ◆3.6.407山手線(未整備)
- ◆7.7.401東浜線(未整備) ◆7.7.402瑞巌寺線(概成済) ◆7.7.403新富山線(未整備)

土地区画整理事業 ◆垣ノ内土地区画整理事業(4.4ha)

都市計画公園 ◆松島海岸公園(18.2ha) ◆垣ノ内公園(0.1ha)

官公庁施設	◆松島公園管理事務所
コミュニティ施設	◆蛇ヶ崎集会所、垣ノ内集会場
教育施設	◆松島第一小学校、松島第一幼稚園
公園緑地等	◆松島海岸公園、西行戻しの松公園、垣ノ内児童公園、高城浜児童遊園、扇谷、双観山
	◆松島海洋センター、松島保育所、小石浜町営住宅、老人ほほえみの家、希望園、瑞巌寺、五大堂、
その他施設	観瀾亭(博物館)、双観荘、松島海岸公園避難施設(明月庵)、石田沢防災センター、松島防災センタ
	ー、松島パノラマハウス避難所、三十刈避難所、帰命院避難所



地域の概況を踏まえて、松島海岸地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
土地利用	<ul><li>○日本三景の一つである風光明媚な松島湾を中心とした国際観光拠点の充実</li><li>○歴史ある市街地住宅地の居住環境の維持・向上</li><li>○松島湾の景観を形成する丘陵地緑地の保全</li></ul>
交 通	道路交通 ○慢性的な交通渋滞が発生している国道45号の交通混雑の緩和 ○生活道路における交通安全対策 ○来訪者にとって使いやすい駐車場等の整備 公共交通 ○JR駅のバリアフリー化及び交通結節機能の充実 ○町営バスの運行本数・ルート等の見直し、来訪者にとって利用し易い運営
都市施設	<ul><li>○医療施設や商業施設の充実</li><li>○地域住民が身近に利用できる街区公園(垣ノ内公園)・児童公園(小石浜児童公園)</li><li>等の適正な維持管理</li><li>○高城川の水質と親水性の向上</li></ul>
都市景観	<ul><li>○日本三景を形成する松島湾全体の自然景観を楽しむことができる保全・演出</li><li>○雄島・五大堂・福浦島周辺、瑞巌寺周辺の重点的保全と景観形成</li><li>○松島湾の自然景観の一環をなす丘陵地緑地の保全</li></ul>
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

当地域は、風光明媚な自然景観を有する松島湾の西側に位置し、観光・住民交流の拠点であるとともに、瑞巌寺をはじめとする歴史・文化遺産や歴史を感じるまち並み、公園等が多数分布しており、これらを保全・活用した活気のある地域づくりを目指す。

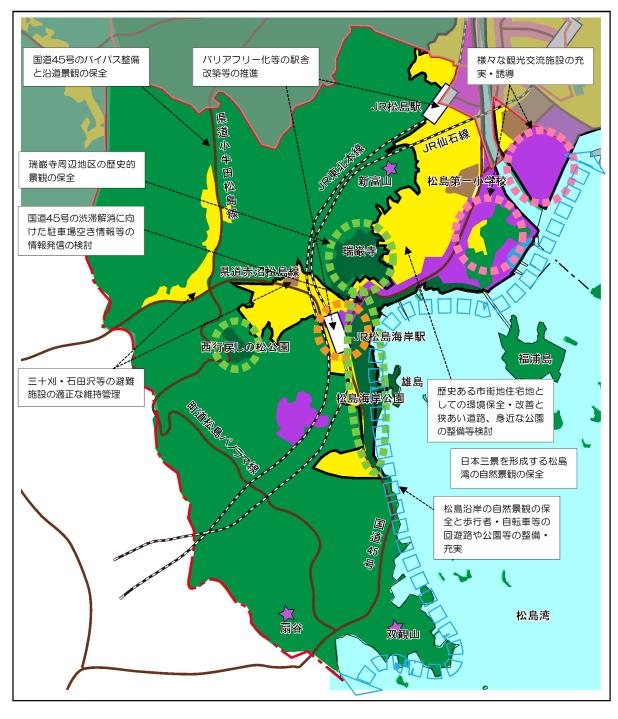
# <地域づくりの将来像>

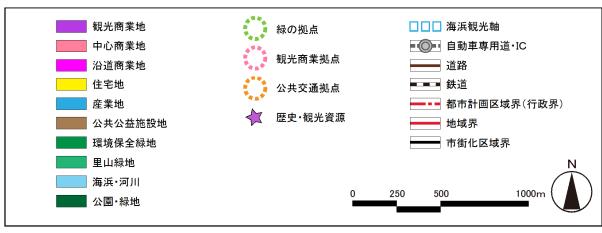
「美しい自然景観を継承し観光客や住民の交流拠点となる地域づくり」



- □ 国内外の来訪者や住民が集い・憩い・交流する賑わいある地域づくり
- □ 松島湾が織りなす自然景観とまち並み景観が調和した地域づくり
- □ 安全で快適な住まいと活気が共存する地域づくり

# 【主要な地域づくりの方針図(松島海岸地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
観光商業地	歴史と緑の観光交流拠点 ◇瑞巌寺及び松島海岸周辺市街地は、優れた景観や歴史・文化を継承し、それらを体感できるまち並みや歴史的遺産、公園等が保全・整備されており、それらの維持保全を図る。 観光商業拠点 ◇国内外の人々が訪れ、宿泊や買物ができる国際的な観光交流の拠点として、観光施設等の情報・案内板等の設置など、更なる充実を図る。
沿道商業地	❖国道45号沿道において、沿道サービス・商業施設等の集積を図る。
住宅地	<ul><li>◆観光商業地の周辺部に形成された住宅地は、古くから住民が居住する住宅地であり、特別名勝松島の第1種保護地区にも指定されており、引き続き、歴史ある住宅地として居住環境の維持・向上を図る。</li><li>◆山地部の緑地の山間に形成された県道小牛田松島線沿道の集落及び農地等は、里山の農地・居住地として保全を図る。</li></ul>
環境保全緑地	❖松島湾の景観を形成する重要な要素である山地部の緑地について、引き続き、保護・保全を図る。

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路  ◆国道45号は、当地域の骨格を形成する道路であるが、松島町と周辺都市を連絡する広域的な幹線道路ともなっており、観光・物流・生活などのあらゆる交通が流入することから慢性的な交通渋滞が発生しており、また、道路幅員の狭あい箇所や歩道未整備箇所なども存在することから、バイパスを含めた道路整備を促進する。 地域幹線道  ◆都市計画道路浜通線は、国道45号から主要地方道奥松島松島公園線へ連絡する機能を持ち、地域幹線道路として整備を図る。  ◆国道45号のバイパス路線として計画されていた都市計画道路山手線は、初原バイパスが整備されたことから見直しを図る。  生活道路  ◆地域内の生活道路については、狭あい箇所の解消や歩行者の安全確保を図るための交通安全施設等の整備を図る。  ◆道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。  駐車場等  ◆観光客にとって利便性の高い駐車場や案内板の整備を図る。
	公共交通	<ul> <li>鉄 道</li> <li>◆町の玄関口であるJR松島海岸駅・松島駅のバリアフリー化と駅舎の改築等を推進するとともに、交通結節機能の強化を図る。</li> <li>バ ス</li> <li>◆町営バスは、運行本数やルート等の見直し検討を行い、観光客等にも利用しやすい運営を図るなど利便性の向上に努める。</li> </ul>

	区分	基本方針
公園緑地	公園・緑地	<ul> <li>松島海岸公園</li> <li>◇松島海岸公園は、観光客等が憩い親しむ公園として、良好な水辺空間の維持・保全を図る。</li> <li>地域住民の身近な公園</li> <li>◇住民が日常的に利用できる街区公園(垣ノ内公園)等の適正な配置検討・維持管理に努める。</li> <li>◇地域住民との協働による公園整備・美化に努める。</li> </ul>
	歴史・観光資源	<ul><li>❖五大堂、瑞巌寺、西行戻しの松公園、扇谷、双観山、新富山等の歴史・観光 資源の保全と有効活用を図る。</li><li>❖関係機関との連携による水族館跡地の有効活用の促進に努める。</li></ul>
河川	・港湾	<ul><li>❖閉鎖水域である松島湾の水質保全と継続的な監視等に取組むとともに、住民一人一人の港湾の水質保全に対する意識の向上に努める。</li><li>❖高城川、松島湾内の震災復興事業の早期完了を目指すとともに、日本三景松島の自然景観を保全し、観光客等が水辺に親しむ親水空間の整備・充実を図る。</li></ul>
下水道		<ul><li>❖引き続き、汚水・雨水の下水道整備事業を推進する。</li><li>❖老朽化している下水道施設の改築、更新に際しては、ストックマネジメント等に基づき、施設の計画的な整備を図る。</li><li>❖公共下水道域内での水洗化と域外での合併処理浄化槽設置の促進を図る。</li></ul>

# 3) 都市景観に関する方針

区分	基本方針
市街地景観	❖日本三景松島を象徴する歴史的建造物や観光施設等が集積し、松島の観光拠点を形成している地域と周辺の住宅地を含めた区域で、松島の歴史・文化を継承し、人々を魅了する品格ある風致景観の形成を図る。
丘陵地景観	❖松島湾を取り囲む丘陵地帯は、松島湾や海岸沿いの陸地から見える緩やかな山並みの稜線を形成している森林であり、松林に特徴付けられた豊かな植生環境と美しい眺望の保全・継承を図る。
雄島·五大堂 福浦島周辺地区	❖雄島、五大堂、福浦島からそれぞれの美しい景観を眺めながら、松島湾全体を楽しめるように、海岸沿いを回遊できる歩行者空間を確保するなど、海岸線を堪能できる景観形成を図る。
松島海岸国道地区	❖松島海岸国道地区は、来訪者が行き交い最も賑わう地区であり、瑞巌寺等の 寺社群と山並みの緑を背景として、海辺の景観と一体となり、景勝地の雰囲気 を感じられる沿道景観の形成を図る。
瑞巌寺周辺地区	❖瑞巌寺周辺の建物の佇まいが寺社群の歴史的な雰囲気と調和するように、建物の屋根や外壁、塀の素材などに配慮し、地域の歴史や文化に配慮した統一感と落ち着きのある和を基調とした景観形成を図る。

# 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

- ❖三十刈・石田沢等の避難施設等の適正な維持管理に努める。
- ❖松島湾及び高城川河口に面する地域は、国際観光交流拠点機能を維持しつつ、安全安心に避難できる機能の充実・強化を図る。
- ❖住宅等の建築物の耐震化の促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖災害時のライフライン等の機能維持のため、関係諸施設の耐震性の確保、系統の多様化、拠点の分散化、代替施設の整備等を推進する。
- ❖地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の災害に適切に対応するため、引き続き、急傾斜地崩壊対策や砂防事業を推進する。

#### 6-3 高城地域

#### (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆おおむね平坦な市街地で、地域西端を高城川が南下している。
- ◆都市計画道路高城本町線沿いの南北に細長い市街地が形成されている。
- ◆8地域の内、最も狭い地域であるが、磯崎地域に次いで人口が多く、人口 密度が最も高い。



#### 人口・世帯数(住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 3,397人 ◆世帯数 1,338世帯 ◆世帯構成人員2.54人/世帯

平成26年 ◆総人口 3,310人 ◆世帯数 1,328世帯 ◆世帯構成人員2.49人/世帯

平成27年 ◆総人口 3,237人 ◆世帯数 1,334世帯 ◆世帯構成人員2.43人/世帯

平成28年 ◆総人口 3,238人 ◆世帯数 1,337世帯 ◆世帯構成人員2.42人/世帯

平成29年 ◆総人口 3,204人 ◆世帯数 1,324世帯 ◆世帯構成人員2.42人/世帯

#### 土地利用

- ◆JR松島駅周辺に沿道商業地が形成されている。
- ◆都市計画道路高城本町線沿道に近隣性のある商業地が形成されている。
- ◆その周辺に古くからの市街地住宅地と北部の丘陵地部に住宅地が形成されている。

#### 交通

主要道路 ◆国道45号 ◆主要地方道奥松島松島公園線 ◆一般県道松島停車場線

◆都市計画道路高城本町線、都市計画道路高城駅前線

公共交通〔鉄道〕◆JR東北本線松島駅(乗車人員 889人/日)

- ◆JR仙石線高城町駅(乗車人員1,446人/日)<sup>※平成28年「東日本旅客鉄道仙台支社」調べ</sup>
- [バス] ◆町営松島東線(4便/日) ◆町営松島西線(5便/日)
  - ◆町営北松島線(6便/日)◆町営北松島線中廻り(4便/日)

#### 法規制

◆文化財保護法による特別名勝松島保存管理計画区域 ◆自然公園法による県立自然公園区域

#### 都市計画

◆都市計画区域(全域市街化区域(用途地域指定有り))

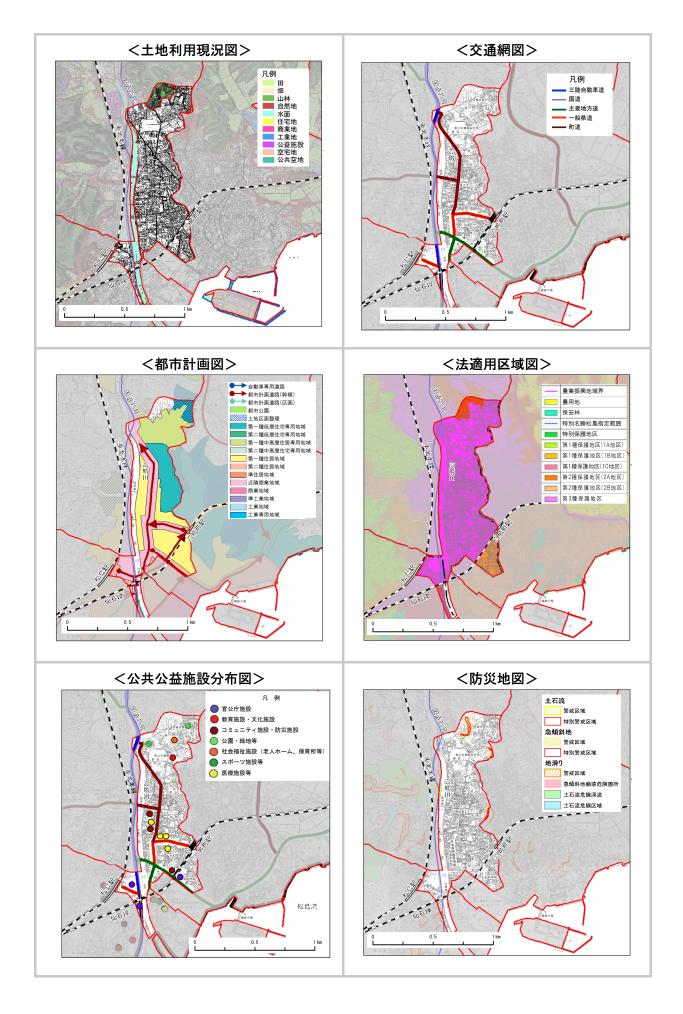
#### 都市計画道路

- ◆3.5.402新松島駅前線(一部整備済) ◆3.5.403磯崎海岸線(整備済)
- ◆3.5.404高城駅前線(未整備) ◆3.6.405高城本町線(一部概成済)

土地区画整理事業 ◆水溜土地区画整理事業(3.3haの一部)

都市計画公園 なし

官公庁施設	◆松島町役場、松島消防署、松島郵便局
コミュニティ施設	◆高城コミュニティセンター、勤労青少年ホーム
教育施設	◆県立松島高等学校
公園緑地等	◆松の杜ふれあい公園、あさひ児童公園
その他施設	◆高城町営住宅、高城避難所



地域の概況を踏まえて、高城地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
土地利用	○JR松島駅・高城町駅周辺の商業の活性化及び環境整備 ○都市計画道路高城本町線沿道の商業地の活性化及び買物環境の整備 ○住宅地の居住環境の保全・整備
交 通	道路交通  ○慢性的な交通渋滞が発生している国道45号の交通混雑の緩和  ○未整備都市計画道路の整備  ○生活道路の整備  ○歩行者の交通安全及び買物環境の向上に資する歩道等の整備  公共交通  ○JR松島駅・高城町駅のバリアフリー化と交通結節機能の向上  ○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
都市施設	<ul><li>○高城川の水質と親水性の向上</li><li>○地域住民が身近に利用できる児童公園(高城浜児童遊園)等の適正な維持管理</li></ul>
都市景観	<ul><li>○松島町の商業拠点として、また町の玄関口としての景観の創出</li><li>○高城川沿川の良好な景観形成</li><li>○都市計画道路高城本町線沿道の商業地景観の形成</li></ul>
都市防災	○河川氾濫への対応 ○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

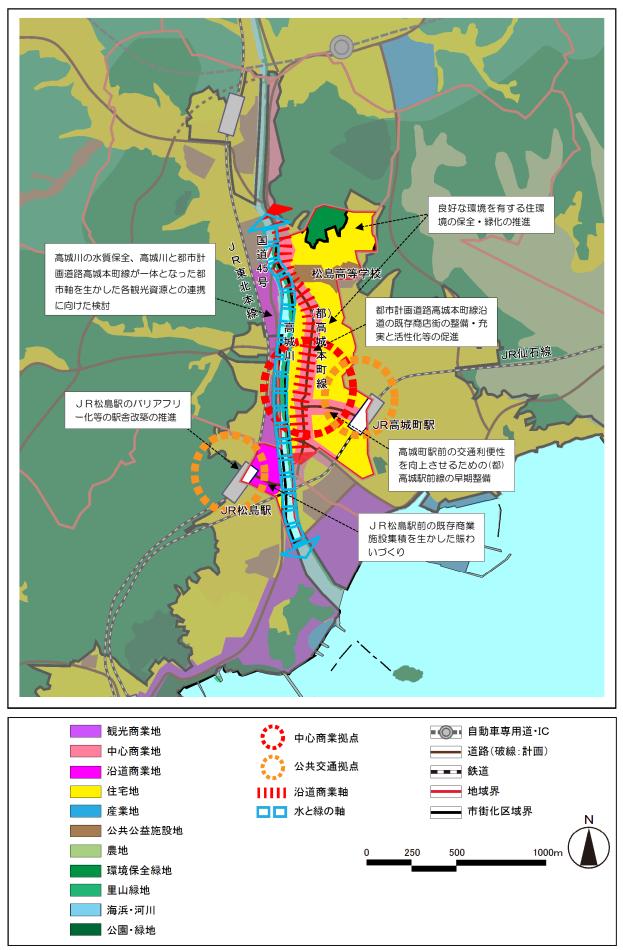
当地域には、都市計画道路高城本町線沿道に商業地が形成されており、高城川と一体となった日常生活の拠点となる都市軸の形成を図るとともに、地域内の住宅地では、住民が安全安心に暮らせる潤いのある住環境の保全・整備を目指す。

<地域づくりの将来像> 「活気と潤いのある日常生活の拠点となる地域づくり」



- □ 町の中心商業拠点となる活気あふれる地域づくり
- □ 住民の日常生活の利便性を高める地域づくり
- □ 安全・安心で潤いある居住環境の整った地域づくり

# 【主要な地域づくりの方針図(高城地域)】



# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
中心商業地	中心商業拠点 ◆都市計画道路高城本町線沿道は、既存の商店や生活サービス施設等の集積を生かして様々な公共公益施設等の誘導を図り、周辺の市街地住宅地への都市的サービスを提供する商業環境の充実を図る。 ◆JR高城町駅を起点とした周遊性の向上等について検討する。
沿道商業地	<ul><li>◆JR松島駅周辺は、商業・行政等からなる市街地が形成されており、更なる機能の充実を図ることで、沿道商業地としての活性化を図る。</li><li>◆JR松島駅を起点とした周遊性の向上等について検討する。</li></ul>
住宅地	❖住民が居住する市街地住宅地として居住環境の維持・向上を図る。

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路 ◆国道45号は、松島町の中心部と周辺諸都市を連絡する広域的な幹線道路として、慢性的な交通渋滞の解消や、機能維持を促進する。 ◆主要地方道奥松島松島公園線は、松島町と東松島市を連絡する広域的な幹線道路としての機能維持に努める。 地域幹線道路 ◆都市計画道路新松島駅前線は、松島駅と国道45号とを連絡する地域幹線道路として見直しを図る。 ◆都市計画道路高城駅前線は、都市計画道路高城本町線とJR高城町駅を連絡する地域幹線道路として早期整備に努める。 ◆都市計画道路高城本町線は、高城地域の商店街を支える地域幹線道路として見直しを図る。  ◆工道路 ◆地域内の生活道路については、狭あいな道路の解消や歩行者の安全通行の確保を図る道路空間の整備に努める。 ◆道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。
	公共交通	<ul> <li>鉄 道</li> <li>❖JR松島駅及びJR高城町駅のバリアフリー化と駅舎の改築等を推進・検討するとともに、交通結節機能の強化を図る。</li> <li>バ ス</li> <li>❖町営バスは、運行本数やルート等の見直し検討を行い、観光客等にも利用しやすい運営を図るなど利便性の向上に努める。</li> </ul>
公園	緑地	<ul><li>地域住民の身近な公園</li><li>❖住民が日常的に利用できる児童公園(高城浜児童公園)等の適正な配置検討・維持管理に努める。</li></ul>
河川		水と緑の軸 ❖高城川の水質保全及び継続的な監視等に取組むとともに、高城川と都市計 画道路高城本町線が一体となった都市軸の形成のあり方等について検討す る。

区分	基本方針
下水道	❖老朽化している下水道施設の改築、更新に際しては、ストックマネジメントを策定し、施設の計画的活効率的な整備を図る。
	◆公共下水道域内での水洗化と域外での合併処理浄化槽設置の促進を図る。

# 3) 都市景観に関する方針

# 基本方針

- ❖高城川沿川及び都市計画道路高城本町線沿道で構成される都市軸において、良好な景観の形成・ 誘導に努める。
- ❖住宅市街地の緑化を推進し、緑と潤いのある住環境の形成を図る。

# 4) 都市防災に関する方針

#### 基本方針

- ❖松島高校等の避難施設の適正な維持管理を促進する。
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖集中豪雨等による高城川の氾濫に対応し、水防機能の強化と早期避難体制の確立等を推進する。
- ❖災害時のライフライン等の機能維持を図るため、老朽化した施設等については、ストックマネジメントに基づき更新を行うとともに、適正な維持管理に努める。

#### 6-4 磯崎地域

#### (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆地域の東部は平坦地、西及び北部は丘陵地、南部は松島湾に面する比較 的平坦地で形成されている。
- ◆地域の南部を松島町と東松島市を結ぶ主要地方道奥松島松島公園線が通 過している。
- ◆JR仙石線が通過しているものの、地域内に駅はない。
- ◆8地域の内、最も人口が多い地域である。

#### 人口・世帯数 (住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 3,270人 ◆世帯数 1,177世帯 ◆世帯構成人員2.78人/世帯

平成26年 ◆総人口 3,327人 ◆世帯数 1,223世帯 ◆世帯構成人員2.72人/世帯

平成27年 ◆総人口 3,327人 ◆世帯数 1,248世帯 ◆世帯構成人員2.67人/世帯

平成28年 ◆総人口 3,396人 ◆世帯数 1,295世帯 ◆世帯構成人員2.62人/世帯

平成29年 ◆総人口 3,367人 ◆世帯数 1,300世帯 ◆世帯構成人員2.59人/世帯

#### 土地利用

- ◆平坦地は、干拓事業により形成された水田を中心とした農地と集落地で形成されている。
- ◆西及び北部の丘陵地は住宅市街地と緑地で、住宅地の過半は土地区画整理事業が実施された良好な 環境の低層住宅地で形成されている。
- ◆南部の海岸に接する地域は漁港及び漁業関連施設地と住宅地で形成されている。

#### 交诵

主要道路 ◆主要地方道奥松島松島公園線 ◆都市計画道路根廻磯崎線

公共交通 〔鉄道〕JR仙石線(駅無し)

[バス] ◆町営松島東線(4便/日) ◆町営北松島線中廻り(4便/日)

- ◆文化財保護法による特別名勝松島保存管理計画 区域
- ◆農業振興地域に関する法律による農業振興地域 及び農用地区域
- ◆自然公園法による県立自然公園区域
- ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民 有林
- ◆その他(保安林、土砂災害警戒区域等)

#### 都市計画

◆都市計画区域(一部市街化区域(用途地域指定有り))

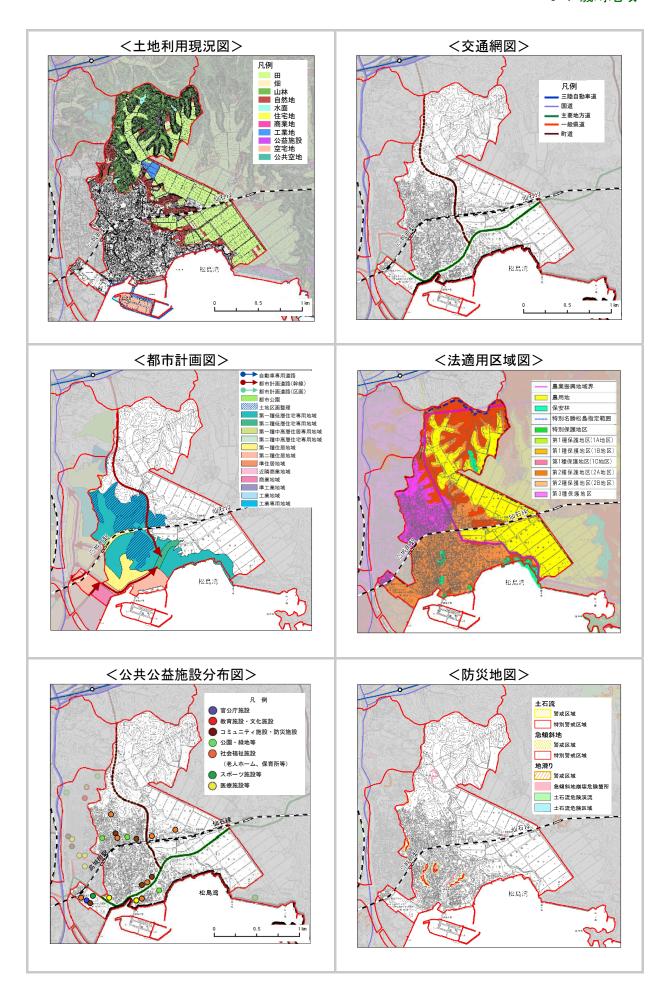
#### 都市計画道路

- ◆3.5.403磯崎海岸線(整備済) ◆3.4.408根廻磯崎線(一部整備済) ◆3.5.406浜通線(整備済)
- |土地区画整理事業 | ◆割波土地区画整理事業(2.2ha) | ◆磯崎土地区画整理事業(7.2ha)
- ◆白坂十地区画整理事業(5.6ha) ◆東磯崎十地区画整理事業(6.1ha)
- ◆溜土地区画整理事業(8.6ha)

都市計画公園 なし

官公庁施設	●子育て支援センター
コミュニティ施設	◆文化観光交流館、華園集会場
教育施設	_
公園緑地等	◆西の浜貝塚公園、美映の丘児童公園、白萩児童公園、光陽台児童遊園
その他施設	◆磯崎保育所、高城保育所、児童館、町民グラウンド、美映の丘町営住宅、華園町営住宅、
	磯崎地区コミュニティ消防センター、白萩避難所、磯崎避難所、長田避難所





地域の概況を踏まえて、磯崎地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
土地利用	<ul><li>○土地区画整理事業により形成された新たな地区における住環境の維持・保全</li><li>○既存住宅地の住環境の充実・強化</li><li>○田園を主体とした里地・里山の保全</li><li>○松島湾の後背緑地としての山地部の緑地の保全</li><li>○松島湾の景観保全のための海岸景観の保全</li><li>○漁港や漁業関連産業の東日本大震災からの早期復興</li></ul>
交 通	道路交通  ○主要地方道奥松島松島公園線及び都市計画道路根廻磯崎線の整備  ○生活道路の整備  ○歩行者の交通安全及び買物環境の向上に資する歩道等の整備  公共交通  ○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
都市施設	○松島湾の水質保全と親水性の向上 ○地域住民が身近に利用できる児童公園(夕陽が丘児童公園)等の適正な維持管理
都市景観	○松島湾沿岸の景観保全 ○住宅市街地における自然環境と調和した良好な景観づくり
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

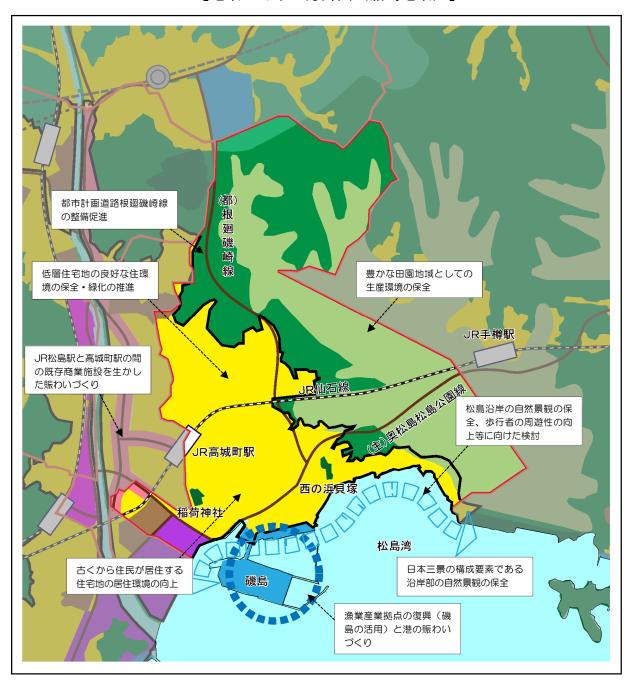
当地域は、住宅市街地と里地・里山及び松島湾沿岸からなる変化に富んだ地域であり、 松島湾の恵みを生かした漁業の振興と観光との連携、緑豊かな自然景観の保全を図ると ともに、人々が安全安心に暮らせる住環境づくりを目指す。

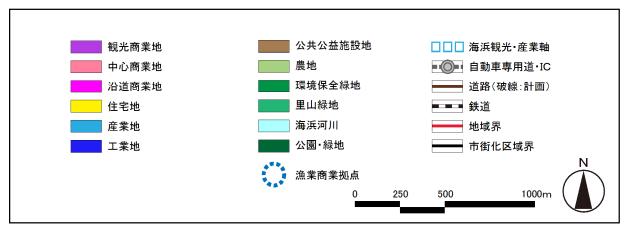
# <地域づくりの将来像>

「松島湾の恵みに育まれた漁業と緑豊かな住環境が調和した地域づくり」

- □ 松島湾の恵みを守り育む地域づくり
- □ 漁業関連産業が活気づく地域づくり
- □ 緑豊かな安全・安心な居住環境を有する地域づくり

# 【地域づくりの方針図(磯崎地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
住宅地	<ul><li>❖土地区画整理事業により居住環境が整備された戸建て住宅を中心とした住宅地は、引き続き、低層戸建て住宅地として緑豊かな住環境の保全に努める。</li><li>❖住宅地は、生活道路や区画道路、既存公園等の適正な維持管理に努め、良好な居住環境の保全を図る。</li><li>❖海岸部の漁港後背地及び漁業関連施設が立地する地域は、東日本大震災からの早期復興を図る。</li></ul>
農地	❖豊かな田園地域として、農業生産環境の保全を図る。
環境保全緑地	❖松島湾の緑の遠景を形成する重要な要素である山地部の緑地は、引き続き、 保護・保全を図る。
産業地	<ul><li>漁業産業拠点</li><li>◆磯島は、東日本大震災からの早期復興を図るとともに、漁港と漁業関連産業の拠点としての機能充実を図る。</li></ul>

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	<ul> <li>広域幹線道路</li> <li>❖主要地方道奥松島松島公園線(都市計画道路磯崎海岸線)は、松島町と東松島市を連絡する広域的な幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>地域幹線道路</li> <li>❖都市計画道路根廻磯崎線は、国道45号と主要地方道奥松島松島公園線を連絡する地域幹線道路として、整備・促進を図る。</li> <li>生活道路</li> <li>❖地域内の狭あいな道路の解消や歩行者の安全通行の確保を図る。</li> <li>❖地域住民との協働による道路空間の適切な維持管理に努める。</li> </ul>
	公共交通	<ul><li>バス</li><li>◇町営バスは、運行本数やルート等の見直し検討を行い、観光客等にも利用しやすい運営を図るなど利便性の向上に努める。</li></ul>
公園緑地		<ul><li>地域住民の身近な公園</li><li>❖住民が日常的に利用できる児童公園(夕陽が丘児童公園)等の適正な配置 検討・維持管理に努める。</li><li>❖地域住民との協働による公園整備・美化に努める。</li></ul>
河川・港湾		❖閉鎖水域である松島湾の水質保全と継続的な監視等に取組むとともに、住民 一人一人の港湾の水質保全に対する意識の向上に努める。
下水道		<ul><li>❖引き続き、汚水・雨水の下水道整備事業を推進する。</li><li>❖老朽化している下水道施設の改築、更新に際しては、ストックマネジメント等に基づき、施設の計画的な整備を図る。</li><li>❖公共下水道域内での水洗化と域外での合併処理浄化槽設置の促進を図る。</li></ul>

# 3) 都市景観に関する方針

区分	基本方針
市街地景観	<ul><li>幹線道路沿いの住宅地と計画的に整備された住宅地において、緑豊かな、 住み心地の良い市街地景観の形成を図る。</li><li>松島湾沿岸の自然景観の保全と、景観を生かした周遊性の向上等について 検討する。</li></ul>
里地・里山景観	❖かつて手樽湾を形成し、干拓事業などにより広大な田園が形成され、背後の 山裾と一帯的に里地・里山的景観が形成されており、干拓による田園景観と 海岸線の名残りが見える自然景観について、引き続き、景観の保全・継承を 図る。

# 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

- ❖白萩避難所等の避難施設の適正な維持管理に努める。
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖避難路に位置づけられている都市計画道路根廻磯崎線の早期整備に努める。
- ❖災害時のライフライン等の機能維持を図るため、老朽化した施設等については、ストックマネジメントに基づき更新を行うとともに、適正な維持管理に努める。

#### 6-5 本郷地域

## (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆地域の東端を南北に流れる高城川沿川に狭小な平坦地、その他の地域は 丘陵地で形成されている。
- ◆平坦地はおおむね市街地が形成されている。
- ◆平坦地にJR東北本線と国道 45 号が南北に通過している。



#### 人口・世帯数(住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 2,008人 ◆世帯数 727世帯 ◆世帯構成人員2.76人/世帯

平成26年 ◆総人口 2,016人 ◆世帯数 748世帯 ◆世帯構成人員2.70人/世帯

平成27年 ◆総人口 2,100人 ◆世帯数 782世帯 ◆世帯構成人員2.69人/世帯

平成28年 ◆総人口 2,061人 ◆世帯数 782世帯 ◆世帯構成人員2.64人/世帯

平成29年 ◆総人口 2,043人 ◆世帯数 787世帯 ◆世帯構成人員2.60人/世帯

#### 土地利用

- ◆市街地には、住宅地と国道45号沿いに沿道型の商業地が形成されている。
- ◆国道45号沿道の田中地区には、松島町水道事業所(松島浄化センター)が配置されている。
- ◆丘陵地は緑地で、狭小な山間に集落と農地が分布している。

#### 交通

主要道路 ◆国道45号 ◆主要地方道仙台松島線

◆一般県道小牛田松島線(初原バイパス) ◆町道高城桜渡戸線

公共交通〔鉄道〕◆JR東北本線愛宕駅

[バス] ◆町営松島東線(4便/日) ◆町営松島西線(5便/日)

◆町営北松島線(6便/日) ◆町営北松島線中廻り(4便/日)

#### 法規制

- 区域
- ◆文化財保護法による特別名勝松島保存管理計画 ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民 有林
- ◆自然公園法による県立自然公園区域
- ◆その他(土砂災害(特別)警戒区域等)

#### 都市計画

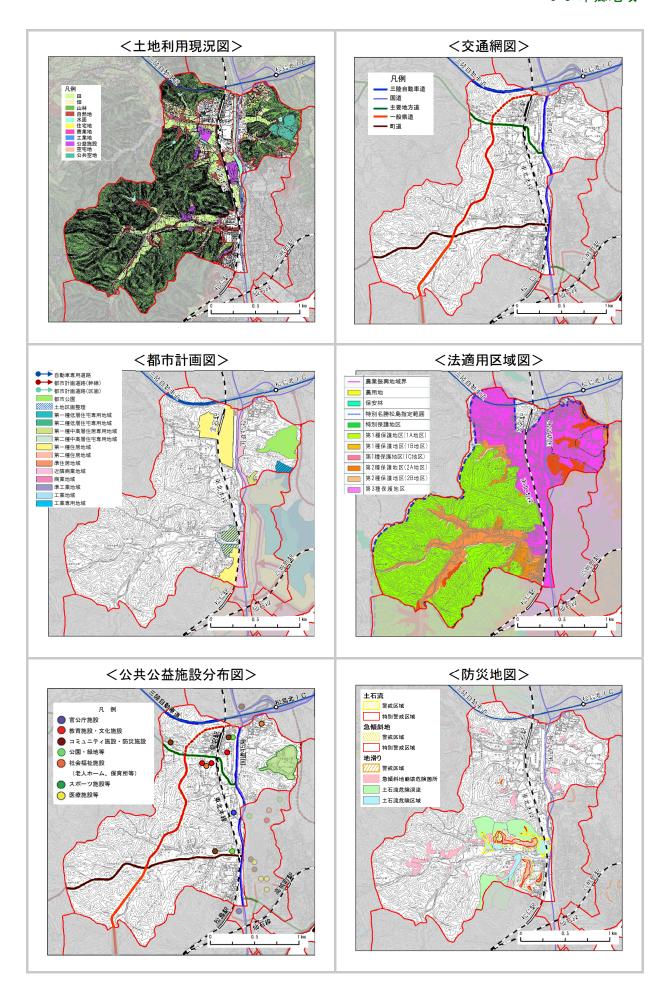
◆都市計画区域(一部市街化区域(用途地域指定有り))

都市計画道路 なし

土地区画整理事業 ◆城内土地区画整理事業(4.4ha)

都市計画公園 ◆松島運動公園 (9.8ha)

官公庁施設	◆松島町水道事業所
コミュニティ施設	◆本郷ふれあいセンター、明神地区コミュニィティ消防センター
教育施設	◆松島中学校、第二小学校、第二幼稚園、城内児童公園、本郷ふれあい児童公園
公園緑地等	◆松島運動公園、温水プール
その他施設	◆愛宕住宅



地域の概況を踏まえて、本郷地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
十地利用	○JR愛宕駅周辺における交流拠点づくり ○JR愛宕駅周辺での新たな居住者に対応した良好な住環境の整備
	○国道45号沿道の商業・流通施設等の誘導による地域の活性化 ○松島湾の後背緑地としての緑地景観の保全
交 通	道路交通  ○慢性的な交通渋滞が発生している国道45号の交通混雑の緩和  ○生活道路における交通安全対策  公共交通  ○JR愛宕駅のバリアフリー化と交通結節機能の向上  ○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
都市施設	<ul><li>○医療・商業施設の充実</li><li>○高城川の水質と親水性の向上</li><li>○地域住民が身近に利用できる児童公園(城内児童公園)等の適正な維持管理</li></ul>
都市景観	○高城川及び国道45号沿道の緑化と良好な景観形成 ○松島湾の自然景観の一環をなす丘陵地緑地の保全
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

#### (3) 地域づくりの目標

当地域は、商業・行政機能が立地するJR松島駅前と市街地北端のJR愛宕駅前を連絡する南北に細長い市街地が国道45号沿いに形成されており、教育施設や松島運動公園が立地している。両駅や公共公益施設を核とした賑わいのあるまちづくりを推進するとともに、新たな居住者の受け皿となる良好な住環境の整備に努め、潤いと活気のある地域の形成を目指す。

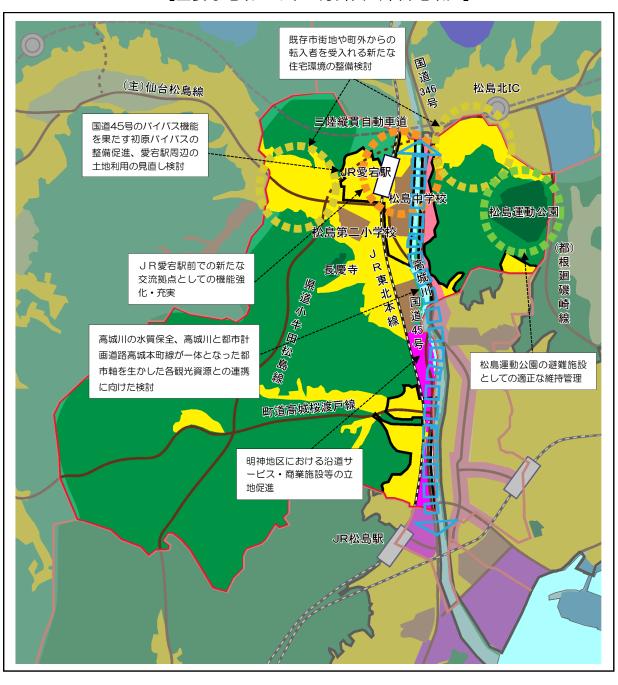
#### <地域づくりの将来像>

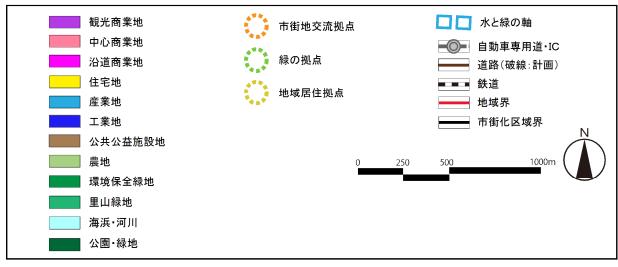
「交通の利便性を生かした賑わいのある交流拠点を形成する地域づくり」



- □ 交通の利便性を生かした賑わいのある地域づくり
- □ JR 愛宕駅の近接性を生かした新たな交流の拠点となる地域づくり
- □ 新たな居住者の受け皿となる良好な住環境を有する地域づくり

# 【主要な地域づくりの方針図(本郷地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
沿道商業地	❖国道45号沿道の明神地区を中心とする地域において、沿道サービス・商業施設等の立地促進を図る。
住宅地	<ul> <li>❖JR愛宕駅・松島駅に近接する既存の住宅地については、駅に近接する利便性を生かした居住環境の維持・向上を図る。</li> <li>❖県道小牛田松島線・町道高城桜渡戸線沿道の集落及び農地等は、良好な里山環境の居住地等として保全を図る。</li> <li>地域居住拠点</li> <li>❖JR愛宕駅周辺に町内外の転入者を受け入れる低層住宅を主体とした新たな住宅地の形成を図る。</li> <li>市街地交流拠点</li> <li>❖JR愛宕駅を中心とする一帯は、新たな市街地住宅地居住者や産業拠点で働く人々の日常的な利用・サービス等の充実した新たな交流拠点として、商業・行政・コミュニティ等機能等の強化・充実を図る。</li> </ul>
環境保全緑地	❖松島湾の緑の遠景を形成する重要な要素である山地部の緑地について、引き続き、保護・保全を図る。

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路  ❖国道45号は、当地域内で国道346号、主要地方道仙台松島線、三陸縦貫自動車道松島北ICへと接続しており、観光・物流・生活などのあらゆる交通が行き交う地点であることから、広域幹線道路として機能を強化するため、バイパスを含めた道路整備を促進する。  ❖主要地方道仙台松島線は、松島町と仙台市を連絡する広域的な幹線道路であり、歩道・交差点・線形等の改良・整備を促進する。  地域幹線道路  ❖県道小牛田松島線は、国道45号のバイパスとして整備促進を図る。  ❖町道高城桜渡戸線は、本地域と初原・桜渡戸地域を連絡する主要地方道仙台松島線を連絡する地域幹線道路として機能の維持に努める。  生活道路  ❖道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。
	公共交通	<ul> <li>鉄 道</li> <li>◇町の中心に位置するJR愛宕駅の交通結線機能の強化を図るため、バリアフリー化を検討する。</li> <li>バ ス</li> <li>◇町営バスは、地域住民の利用状況に応じた運行本数やルート等の見直しを検討するなど利便性の向上に努める。</li> <li>◇高齢化の進行や定住促進に対応するため、地域住民に利用しやすい公共交通のあり方等について検討する。</li> </ul>

区分	基本方針
公園・緑地	<ul><li>緑の拠点</li><li>◇松島運動公園の適正な維持管理に努めるとともに、住民の利用率の向上に向けた施設の充実を図る。</li><li>地域住民の身近な公園</li><li>◇住民が日常的に利用できる児童公園(城内児童公園)等の適正な配置検討・維持管理に努める。</li></ul>
河川	水と緑の軸 ❖高城川の水質保全及び継続的な監視等に取組むとともに、高城川と都市計画道路高城本町線が一体となった都市軸の形成のあり方等について検討する。
下水道	<ul><li>◆老朽化している下水道施設の改築、更新に際しては、ストックマネジメント等を 策定し、施設の計画的活効率的な整備を図る。</li><li>◆公共下水道域内での水洗化と域外での合併処理浄化槽設置の促進を図る。</li></ul>

## 3) 都市景観に関する方針

#### 基本方針

- ❖丘陵地帯は、松島湾や海岸沿いの陸地から見える緩やかな山並みの稜線を形成しており、松林に 特徴づけられた豊かな植生環境と美しい眺望の保全・継承を図る。
- ❖高城川沿川及び国道45号沿道で構成される都市軸において、良好な景観の形成・誘導に努める。

## 4) 都市防災に関する方針

#### 基本方針

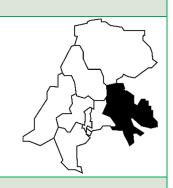
- ❖松島運動公園の避難施設としての適正な維持管理に努める。
- ❖関係機関との連携のもと、高城川の護岸の復旧整備、適正な維持管理に努める。
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖災害時のライフライン等の機能維持を図るため、老朽化した施設等については、ストックマネジメント等に基づき更新を行うとともに、適正な維持管理に努める。
- ❖山地部に隣接する集落の保全を図るために、地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の 災害を防止するための急傾斜地崩壊対策や砂防事業を促進する。
- ❖安全安心な教育環境の整備に向けて、第二小学校や松島中学校など老朽化した教育施設の改修に 努める。

#### 6-6 手樽地域

## (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆地域の東北部は丘陵地が形成されている。
- ◆地域の西部は、隣接する磯崎地域の平坦地と一体となった平坦地を形成 している。
- ◆南部は、松島湾に面した入り組んだ海岸で、各所に漁港が形成されてい
- ◆JR仙石線が地域南部を東西に横断し、手樽駅と陸前富山駅が設置され ている。



#### 人口・世帯数(住民基本台帳より)

- 平成25年 ◆総人口 776人 ◆世帯数 251世帯 ◆世帯構成人員3.09人/世帯
- 平成26年 ◆総人口 756人 ◆世帯数 251世帯 ◆世帯構成人員3.01人/世帯

- 平成27年 ◆総人口 731人 ◆世帯数 246世帯 ◆世帯構成人員2.97人/世帯

- 平成28年 ◆総人口 701人 ◆世帯数 239世帯 ◆世帯構成人員2.93人/世帯
- 平成29年 ◆総人口 683人 ◆世帯数 235世帯 ◆世帯構成人員2.91人/世帯

#### 土地利用

- ◆平坦地は、手樽湾の干拓事業により形成された水田とその周辺に集落地が分散的に分布している。
- ◆JR手樽駅と陸前富山駅に拠点的な集落が形成されている。
- ◆丘陵地は緑地で、松島湾の遠景を構成する景観緑地と山間の農地・集落で形成されている。

#### 交通

主要道路 ◆主要地方道奥松島松島公園線

公共交通 〔鉄道〕 ◆JR仙石線手樽駅 ◆JR仙石線陸前富山駅

[バス] ◆町営松島東線(4便/日) ◆町営北松島線(6便/日)

#### 法規制

- ◆文化財保護法による特別名勝松島保存管理計画区域
- ◆自然公園法による県立自然公園区域
- ◆農業振興地域に関する法律による農業振興地域及び農用地区域
- ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民有林
- ◆その他(保安林、土砂災害警戒区域等)

## 都市計画

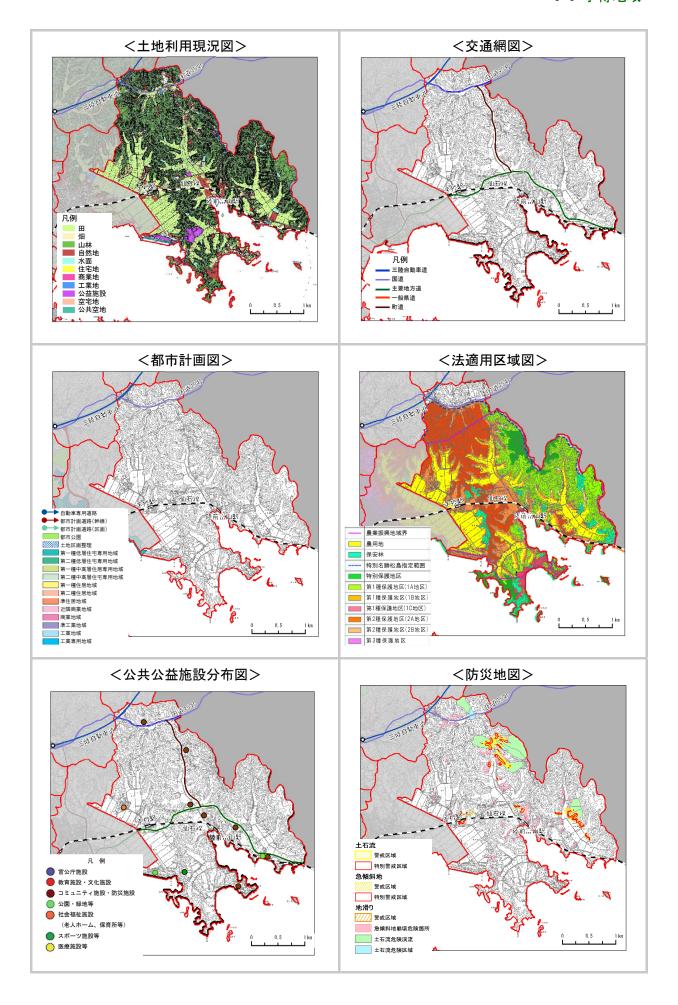
◆都市計画区域(全域市街化調整区域)

都市計画道路 なし

土地区画整理事業 なし

都市計画公園 なし

官公庁施設	
コミュニティ施設	◆左坂集会場、古浦集会所、手樽地域交流センター
教育施設	_
公園緑地等	◆手樽海浜公園、古浦農村公園
その他施設	◆松島フットボールセンター、老人ひだまりの家、手樽防災センター、古浦避難所、三 浦避難所、名籠避難所



地域の概況を踏まえて、手樽地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
	○地域住民の日常生活利便性を高める拠点づくり
	○海岸部の漁港及び漁業関連施設の維持・保全
十地利用	○海岸線の自然景観の保全
丁-大原小1/11	○平坦地の水田地の保全
	○松島湾の遠景緑地としての丘陵地緑地の里山として保全が必要
	○山間の農地及び集落地の保全
	道路交通
	○主要地方道の幹線道路としての機能維持
	○生活道路の整備
交 通	○歩行者の交通安全に資する歩道等の整備
	公共交通
	○公共交通の結節点機能の強化
	○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
	- ○合併処理浄化槽設置の促進
都市施設	○日常生活の利便性の向上が必要
	○住民が日常的に利用できる公園等の充実
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

当地域は、松島湾に面した良好な自然環境を有する海岸地域で、水田地帯と丘陵地の緑地で形成されている。この美しい海岸線を生かした地域づくりを検討するとともに漁業と農業を営む人々が日々の生活の中で、自然を慈しみ、自然を守り、心豊かな生活を営むことができる地域づくりを目指す。

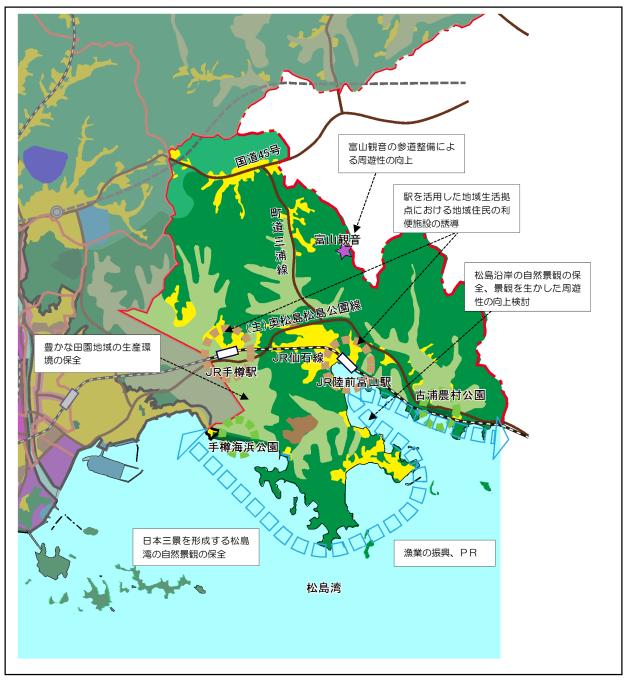
## <地域づくりの将来像>

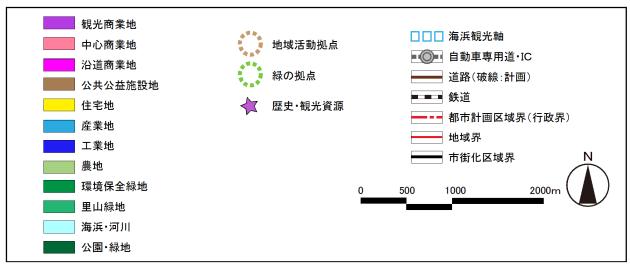
「漁業・農業の拠点となるとともに美しい海岸線や丘陵地を生かした魅力ある地域づくり」



- □ 農業集落や漁業集落等の住環境を保全する地域づくり
- □ 松島湾沿岸の自然景観と丘陵地の緑を保全する地域づくり
- □ 美しい海岸線を生かした魅力ある地域づくり

# 【主要な地域づくりの方針図(手樽地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
住宅地	<ul><li>◆農地の保全と農業集落地の居住環境の保全を図る。</li><li>◆松島湾の保全と漁業集落地の居住環境の保全を図る。</li><li>地域生活拠点</li><li>◆JR仙石線手樽駅及び陸前富山駅前に、地域の人々の生活の中心となる地域生活拠点として、公共公益施設や商業施設等の誘導を図る。</li></ul>
農地	❖手樽湾の干拓により形成された水田地帯の保全を図る。
里山緑地	<ul><li>❖山地部の緑地は、松島湾の遠景を形成する重要な景観要素として、保全を図るとともに、生物多様性に資する環境の維持・向上に努める。</li><li>❖漁業産業の拠点として、漁港の機能維持に努めるとともに、漁業の振興を図る。</li></ul>

# 2) 都市施設等に関する方針

区分		基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路 ★主要地方道奥松島松島公園線は、高城地域や東松島市に連絡する広域幹線道路としての機能維持に努める。 地域幹線道路 ◆町道三浦線は、国道45号と主要地方道奥松島松島公園線を連絡する地域幹線道路としての機能維持に努める。 生活道路 ◆地域内の生活道路については、狭あいな道路の解消や歩行者の安全通行の確保を図る道路空間の整備を図る。 ◆道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。
	公共交通	<ul> <li>鉄 道</li> <li>◇JR仙石線手樽駅と陸前富山駅においては、町営バスとの接続機能の向上に向けた検討を進める。</li> <li>バ ス</li> <li>◇町営バスは、地域住民の利用状況に応じた運行本数やルート等の見直しを検討するなど利便性の向上に努める。</li> </ul>
公園·緑地		<ul><li>緑の拠点</li><li>❖手樽海浜公園は、公園施設の充実や利便性の向上を図ることで、公園利用者の多目的利活用の資する公園整備を推進する。</li><li>❖地域住民との協働による公園整備・美化に努める。</li></ul>
河川・港湾		❖閉鎖水域である松島湾の水質保全と継続的な監視等に取組むとともに、住民 一人一人の港湾の水質保全に対する意識の向上に努める。
下水道		❖合併処理浄化槽設置の促進を図る。

# 3) 都市景観に関する方針

#### 基本方針

- ◆干拓により広大な水田地帯が形成された手樽地域の田園景観と背後の山裾と一体的な里地・里山景観の 保全・継承を図る。
- ❖松島湾沿岸の自然景観の保全と、景観を生かした周遊性の向上等について検討する。

# 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

- ❖手樽防災センター等の避難施設の適正な維持管理に努める。
- ❖松島湾に面する地域は、津波に対して安全安心に避難できる機能の強化を図る。
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強い地域づくりを推進する。
- ❖山地に隣接する集落の保全を図るために、地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の災害を防止するための急傾斜地崩壊対策や砂防事業を促進する。

#### 6-7 初原•桜渡戸地域

#### (1) 地域の概況

## 地域の概況

- ◆松島湾から眺望できる丘陵地の稜線から、その背後の山地からなる南 北に細長い地域で形成されている。
- ◆山間部には、高城川の支流と主要地方道仙台松島線と三陸縦貫自動 車道が通る狭小な平坦地が形成されている。



#### 人口・世帯数 (住民基本台帳より)

- 平成25年 ◆総人口 946人 ◆世帯数 365世帯 ◆世帯構成人員2.59人/世帯
- 平成26年 ◆総人口 905人 ◆世帯数 355世帯 ◆世帯構成人員2.55人/世帯

- 平成27年 ◆総人口 902人 ◆世帯数 365世帯 ◆世帯構成人員2.47人/世帯
- 平成28年 ◆総人口 890人 ◆世帯数 367世帯 ◆世帯構成人員2.43人/世帯
- 平成29年 ◆総人口 873人 ◆世帯数 361世帯 ◆世帯構成人員2.42人/世帯

#### 土地利用

- ◆平坦地は水田を中心とした農地と集落地で形成されている。
- ◆東及び西部の斜面地は緑地で形成されている。

#### 交通

主要道路 ◆三陸縦貫自動車道 ◆主要地方道仙台松島線 ◆主要地方道大和松島線

公共交通〔鉄道〕なし

〔バス〕 ◆町営松島西線(5便/日)

#### 法規制

◆その他(保安林、土砂災害(特別)警戒区域等)

# 都市計画

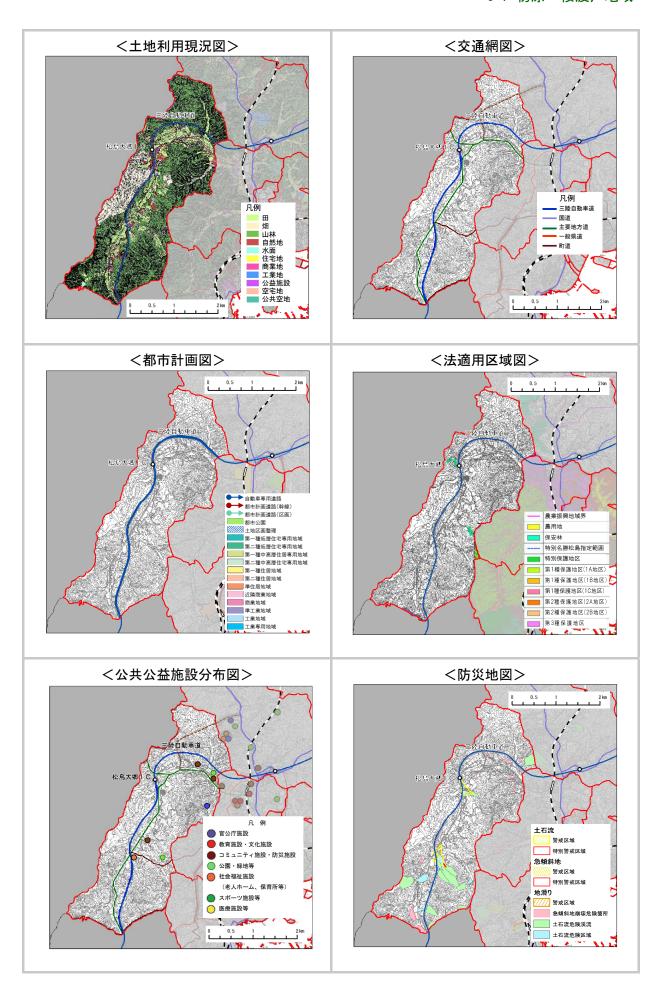
◆都市計画区域(全域市街化調整区域)

都市計画道路 なし

土地区画整理事業なし

都市計画公園 なし

官公庁施設	◆陸上自衛隊反町分屯地
コミュニティ施設	◆初原コミュニティセンター、桜渡戸分館
教育施設	_
公園緑地等	◆治祐ヶ森自然公園、初原ユーユー公園
その他施設	◆初原地区コミュニティ消防センター



地域の概況を踏まえて、初原・桜渡戸地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
土地利用	<ul><li>○三陸縦貫自動車道のインターチェンジによる広域的ポテンシャルを活用した新たな産業誘導による地域の活性化</li><li>○仙台市等との近接性を生かした地域の活性化と土地利用の誘導</li><li>○山間の農地及び集落地の保全・活用</li><li>○主要地方道仙台松島線沿道の活性化</li></ul>
交通	道路交通  ○主要地方道仙台松島線の幹線道路としての機能維持  ○生活道路の整備  ○歩行者の交通安全に資する歩道等の整備  公共交通  ○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
都市施設	<ul><li>○合併処理浄化槽設置の促進</li><li>○住民の日常生活利便性の向上</li><li>○住民が日常的に利用できる児童公園等の充実</li></ul>
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

当地域は、緑豊かな森林景観を有し、里地・里山集落が主要地方道沿道に分布している。良好な里山の原風景を残しつつ、地域の持つ広域交通ポテンシャルを生かした新たな活力拠点の形成を促進するとともに、良好なコミュニティを維持・継承する地域づくりを目指す。

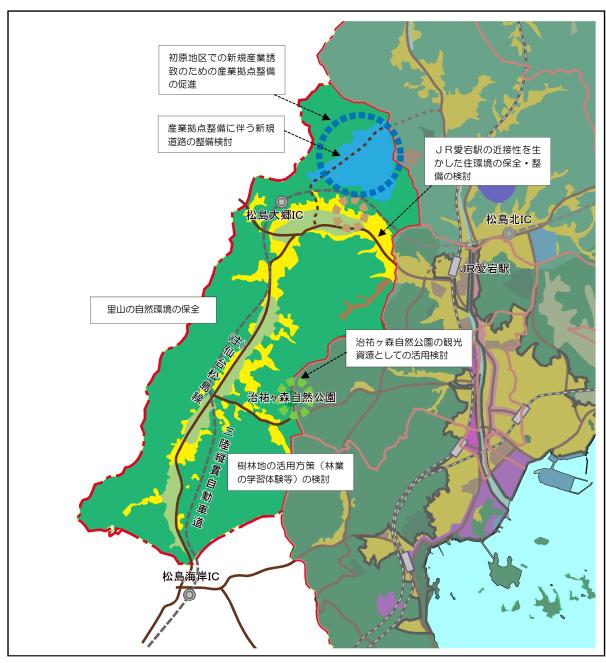
## <地域づくりの将来像>

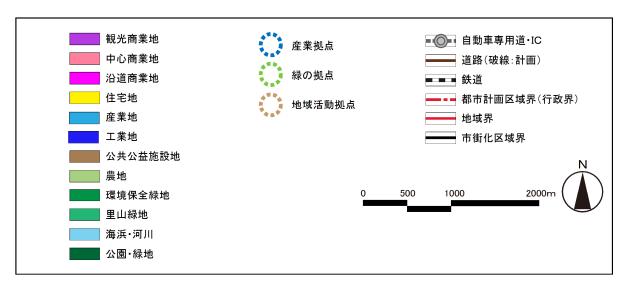
「里山地域の良好なコミュニティを継承しつつ新たな産業拠点を形成する地域づくり」



- □ 里山の保全に配慮しつつ新たな産業拠点を創出する地域づくり
- □ 里地の集落と自然環境の保全による里山の原風景を守る地域づくり
- □ 良好なコミュニティを維持・継承する地域づくり

## 【地域づくりの方針図(初原・桜渡戸地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
住宅地	<ul><li>◆農地の保全と農業集落地の居住環境・コミュニティの維持保全を図るとともに、主要地方道沿道での地域サービスや沿道サービス施設のあり方等について検討する。</li><li>◆JR愛宕駅周辺の住宅地においては、駅に近接するポテンシャルを生かした住環境の保全・整備のあり方等について検討する。</li></ul>
里山緑地	<ul><li>❖山地部の緑地は、適地での整備・開発を除いて、原則、保全を図り、良好な自然環境に資する環境の維持・向上に努める。</li><li>林業の振興</li><li>❖樹林地の活用に向けた方策(林業の学習体験等)を検討する。</li></ul>
産業地	産業拠点  ❖三陸縦貫自動車道松島大郷IC及び松島北ICによる広域交通ポテンシャルを生かし、初原地区の丘陵地の一部に、緑地保全に配慮しつつ、新産業を誘致する拠点の形成を図る。

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路 ★主要地方道仙台松島線は、仙台都市圏への広域幹線道路であり、三陸縦貫自動車道の松島大郷IC、松島北IC及び地域外の松島海岸ICへのアクセス道路でもあることから、その機能維持に努める。 都市間幹線道路 ★主要地方道大和松島線は、松島町と大郷町及び大和町等を連絡する都市間幹線道路としての機能維持に努める。 生活道路 ◆地域内の生活道路については、狭あいな道路の解消や歩行者の安全通行の確保を図る道路空間の整備を図る。 ◆道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。
	公共交通	<ul><li>バス</li><li>◇町営バスは、地域住民の利用状況に応じた運行本数やルート等の見直しを 検討するなど利便性の向上に努める。</li></ul>
公園緑地		<ul><li>◆観光資源として治祐ヶ森自然公園の整備・充実、活用検討に努める。</li><li>◆住民が日常的に利用できる児童公園(上初原児童公園)等の適正な維持管理に努める。</li></ul>
河川		❖地域を流れる高城川の支流(田中川)は、水質の保全と緑のせせらぎとして環境保全を図る。
下水道		❖合併処理浄化槽設置の促進を図る。

## 3) 都市景観に関する方針

基本方針
❖緑豊かな森林景観と里地・里山集落の保全・継承を図る。

# 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

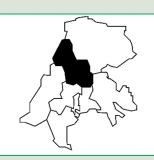
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖山地に隣接する集落の保全を図るために、地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の災害を防止するための急傾斜地崩壊対策や砂防事業を促進する。

#### 6-8 根廻・上幡谷地域

#### (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆地域全体は丘陵地で、国道 45 号、JR東北本線、国道 346 号沿道に狭 小な平坦地が形成されている。
- ◆松島町の市街地に近接していることと、国道の通過及び三陸縦貫自動車 道松島北ICの開設等により、工業団地や町の公共公益施設の立地が多 い。



#### 人口・世帯数 (住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 561人 ◆世帯数 209世帯 ◆世帯構成人員2.68人/世帯

平成26年 ◆総人口 559人 ◆世帯数 210世帯 ◆世帯構成人員2.66人/世帯

平成27年 ◆総人口 543人 ◆世帯数 207世帯 ◆世帯構成人員2.62人/世帯

平成28年 ◆総人口 524人 ◆世帯数 212世帯 ◆世帯構成人員2.47人/世帯

平成29年 ◆総人口 508人 ◆世帯数 207世帯 ◆世帯構成人員2.45人/世帯

#### 土地利用

- ◆平坦地は水田を中心とした農地と集落地で形成されている。
- ◆根廻地区の丘陵地に、工業団地、町民の森、福祉施設等が立地している。
- ◆その他の丘陵地は緑地で形成されている。

#### 交通

主要道路 ◆三陸縦貫自動車道 ◆国道45号 ◆国道346号

公共交通 〔鉄道〕 JR東北本線(駅無し)

[バス] ◆町営北松島線(6便/日) ◆町営松島東線(4便/日)

◆町営北松島線中廻り(4便/日) ◆町営松島西線(5便/日)

#### 法規制

- ◆農業振興地域に関する法律による農業振興地域及び農用地区域
- ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民有林
- ◆その他(保安林、土砂災害(特別)警戒区域等)

#### 都市計画

◆都市計画区域(全域市街化調整区域)

#### 都市計画道路

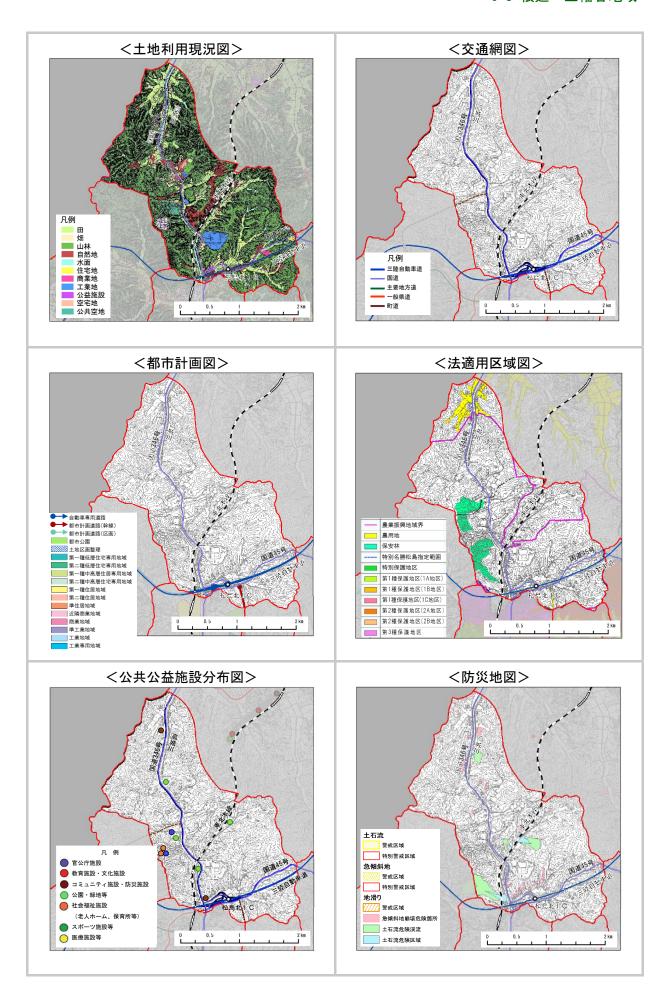
◆ 3.4.408根廻磯崎線(一部整備済)

土地区画整理事業 なし

都市計画公園 なし

#### 主な公共公益施設等

官公庁施設	◆野外活動センター、保健福祉センター
コミュニティ施設	◆上幡谷生活センター、根廻分館
教育施設	_
公園緑地等	◆長松園森林公園町民の森、根廻児童公園
その他施設	◆特別養護老人ホーム松島長松苑、介護支援事務所、明治潜穴、元禄潜穴(ずり出し穴)



## (2) 地域の課題

地域の概況を踏まえて、根廻・上幡谷地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題	
土地利用	<ul><li>○三陸縦貫自動車道の松島北IC及び松島大郷ICによる広域的ポテンシャルを活用した土地利用の誘導</li><li>○里山としての緑地の保全</li><li>○町民の森や明治潜穴等の活用と合わせた観光レクリエーション機能の強化</li><li>○公共公益施設の利活用による地域賑わいづくり</li><li>○山間の農地及び集落地の保全</li><li>○国道沿道の活性化</li></ul>	
交 通	<ul> <li>道路交通</li> <li>○都市計画道路根廻磯崎線の整備</li> <li>○国道の幹線道路としての機能維持</li> <li>○国道と隣接する初原地域の大規模産業開発に合わせた道路整備</li> <li>○生活道路の整備</li> <li>○歩行者の交通安全に資する歩道等の整備</li> <li>○歩行者の交通安全に資する歩道等の整備</li> <li>○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上</li> </ul>	
都市施設	<ul><li>○合併処理浄化槽設置の促進</li><li>○日常生活の利便性の向上</li><li>○住民が日常的に利用できる児童公園等の充実</li></ul>	
都市防災	○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進	
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進	

## (3) 地域づくりの目標

当地域は、三陸縦貫自動車道の松島北IC及び松島大郷ICに近接する広域的ポテンシャルや市街地隣接地である立地特性等を生かし、豊かな自然環境の保全や既存施設の有効活用に努めるとともに、地域の居住拠点の形成を目指す。

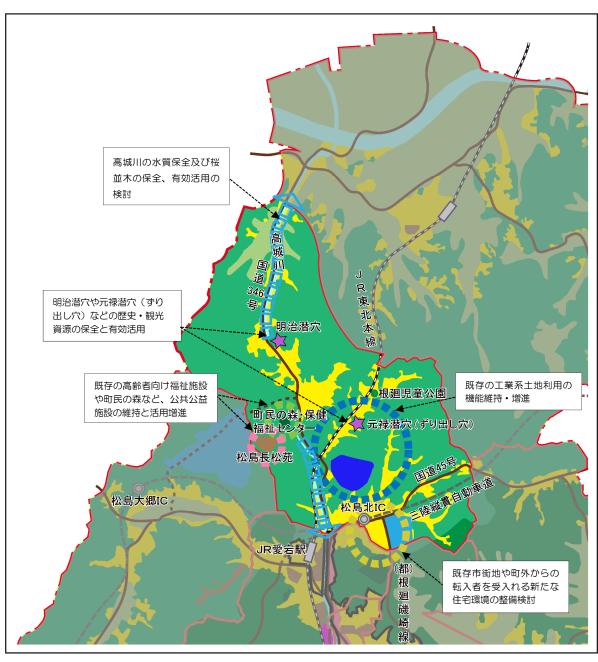
# <地域づくりの将来像> 「豊かな里山の自然と交流拠点が共生する地域づくり」

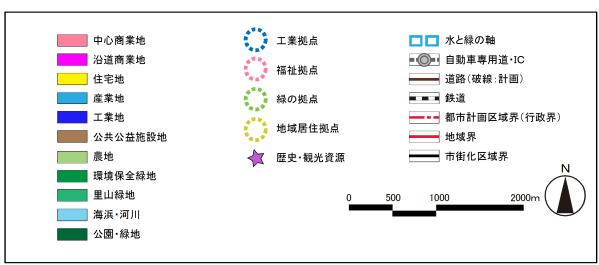


#### 【基本目標】

- □ 豊かな里山や高城川の水質等の自然環境を保全する地域づくり
- □ 公園緑地や福祉施設等の交流拠点を有効活用する地域づくり
- □ 交通の利便性を生かした新たな交流・居住拠点を形成する地域づくり

## 【地域づくりの方針図(根廻・上幡谷地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
住宅地	<ul><li>◆里山や農地の保全を図るとともに、山地部の集落や農業集落地の居住環境の保全に努める。</li><li>地域居住拠点</li><li>◆JR愛宕駅周辺に町内外からの転入者を受け入れる低層住宅を主体とした新たな住宅地の形成を図る。</li></ul>
農地	❖豊かな田園地域としての農業生産環境の保全を図る。
里山緑地	❖山地部の緑地は、適地での整備・開発を除いて、原則、保全を図り、良好な自然環境に資する環境の維持・向上に努める。
環境保全緑地	❖松島湾の緑の遠景を形成する山地部の緑地について、保護・保全を図る。
産業地等	工業拠点、福祉拠点、緑の拠点 ◆既存の工業系土地利用の機能維持・増進に向けた検討を行う。 ◆既存の高齢者向け福祉施設や町民の森など、公共公益施設の維持と活用 増進に努める。

# 2) 都市施設等に関する方針

	区分	基本方針
交通施設	道路	広域幹線道路  ❖国道45号は、松島町の中心部と東松島市を連絡する広域幹線道路としての機能維持を図るとともに、都市計画道路根廻磯崎線との接続部における交差点改良を促進する。  ❖国道346号は、松島町と大崎市、涌谷町及び登米市等に至る広域幹線道路としての機能維持に努める。 地域幹線道路  ❖ (仮称) 初原幡谷開発地区内幹線は、初原地域の大規模産業開発に合わせて整備を検討する。  生活道路  ❖ 道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。
	公共交通	<ul><li>バス</li><li>◇町営バスは、町民の森や保健福祉センター等の利用を促進するとともに、運行本数やルート等の見直しを検討するなど利便性の向上に努める。</li></ul>
公園緑地	公園・緑地	<ul><li>◆町民の森は、レジャー機能を有することから住民等との協働による維持管理に努める。</li><li>◆住民が日常的に利用できる児童公園(根廻児童公園)等の適正な維持管理を推進する。</li><li>◆国道346号沿道の高城川上流の桜並木の適切な維持管理を住民との協働により努める。</li></ul>
	歴史・観光資源	❖品井沼干拓と高城川の歴史に関わりの深い明治潜穴・元禄潜穴(ずり出し穴)などの歴史・観光資源の保全と有効活用を図る。
河川		❖高城川の支流は、水質の保全と緑のせせらぎとして環境保全を図る。
下水道		❖合併処理浄化槽設置の促進を図る。

## 3) 都市景観に関する方針

## 基本方針

❖緑豊かな森林景観と里地・里山集落の保全・継承を図る。

## 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

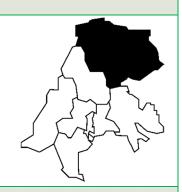
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖山地に隣接する集落の保全を図るために、地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の災害を防止するための急傾斜地崩壊対策や砂防事業を促進する。

#### 6-9 幡谷·竹谷·北小泉地域

#### (1) 地域の概況

#### 地域の概況

- ◆地域の北部を吉田川が西から東に流下し、その沿岸には、平坦地が形 成されている。
- ◆南部は、吉田川に向かう丘陵地で形成されている。
- ◆JR東北本線が南北に走り、平坦部と丘陵部の境に品井沼駅が立地し ている。
- ◆地域西部に国道 346 号が、東部の吉田川沿いに主要地方道鹿島台鳴 瀬線が、国道と主要地方道を連絡する形で県道竹谷幡谷線が配置さ れている。



#### 人口・世帯数(住民基本台帳より)

平成25年 ◆総人口 2,071人 ◆世帯数 618世帯 ◆世帯構成人員3.25人/世帯

平成26年 ◆総人口 2,042人 ◆世帯数 633世帯 ◆世帯構成人員3.23人/世帯

平成27年 ◆総人口 2,030人 ◆世帯数 635世帯 ◆世帯構成人員3.20人/世帯

平成28年 ◆総人口 2,006人 ◆世帯数 637世帯 ◆世帯構成人員3.15人/世帯

平成29年 ◆総人口 1,971人 ◆世帯数 640世帯 ◆世帯構成人員3.08人/世帯

- ◆平坦地は水田を中心とした農地で集落地が分散的に分布している。
- ◆丘陵地は緑地で形成されている。
- ◆IR品井沼駅前には住宅地が形成されており、商店や公共公益施設が立地し、地域の生活中心拠点を形 成している。

#### 交通

|主要道路||◆国道346号||◆主要地方道鹿島台鳴瀬線||◆県道竹谷幡谷線||◆県道大和幡谷線

公共交通 〔鉄道〕 ◆JR東北本線品井沼駅(乗車人員338人/日)※平成28年「東日本旅客鉄道仙台支社」調べ

[バス] ◆町営北松島線(6便/日) ◆町営北松島線中廻り(4便/日)

## 法規制

- ◆農業振興地域に関する法律による農業振興地域及び農用地区域
- ◆森林法に基づく国有林及び地域森林計画対象民有林
- ◆その他(保安林、土砂災害警戒区域等)

#### 都市計画

◆都市計画区域(全域市街化調整区域)

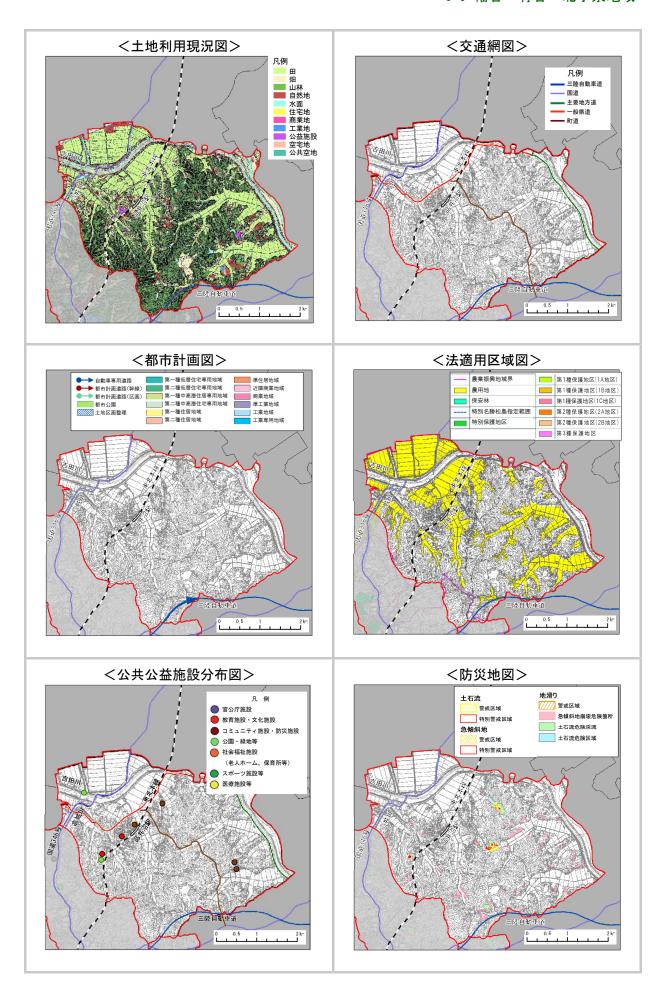
都市計画道路 なし

土地区画整理事業 なし

都市計画公園 なし

主たのサルガ協認等

エなム共ム亜旭政	土な公共公益ル設寺	
官公庁施設		
コンニーが記	◆松島東部地域交流センター、北小泉下竹谷地区コミュニティセンター、上竹谷生活	
コミュニティ施設	センター、品井沼農村環境改善センター	
教育施設	◆第五小学校、第五幼稚園	
公園緑地等	_	
その他施設	◆品井沼干拓資料館、元禄潜穴(穴頭)	



## (2) 地域の課題

地域の概況を踏まえて、幡谷・竹谷・北小泉地域が抱える地域課題について以下のとおり整理する。

区 分	地域が抱える課題
土地利用	<ul><li>○JR品井沼駅周辺における既存集落の維持、活性化</li><li>○地域住民の日常生活の利便性を高める拠点づくり</li><li>○吉田川沿川の農業地帯の保全</li><li>○地域の里山としての緑地保全と山間の農地及び集落地の保全</li></ul>
交通	道路交通  ○国道及び主要地方道の幹線道路としての機能維持  ○生活道路の整備  ○歩行者の交通安全に資する歩道等の整備  公共交通  ○町営バスの運行本数・ルート等の見直しによる住民サービスの向上
都市施設	<ul><li>○合併処理浄化槽設置の促進</li><li>○日常生活の利便性の向上</li><li>○公園や遊び場の充実</li></ul>
都市防災	○吉田川の水害時の対応 ○東日本大震災や近年の豪雨災害等を教訓とした災害に強い地域づくりの推進
その他	○高齢化社会に対応した安全安心な地域づくりの推進

## (3) 地域づくりの目標

当地域は、吉田川沿川の水田地帯と丘陵地の緑地で形成されている里地・里山地域で、吉田川の河川氾濫等の未然防止に努め、この豊かな自然の中で暮らしを営む子どもからお年寄りまでの誰もが笑顔で住み続けることができる豊かな生活環境づくりの形成を目指す。

<地域づくりの将来像>

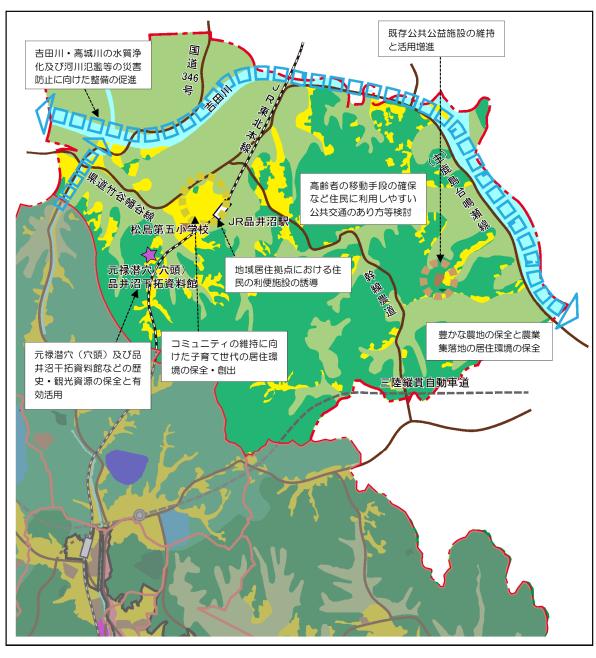
「里地・里山の恵みのもと誰もが安心して暮らせる田園居住の地域づくり」

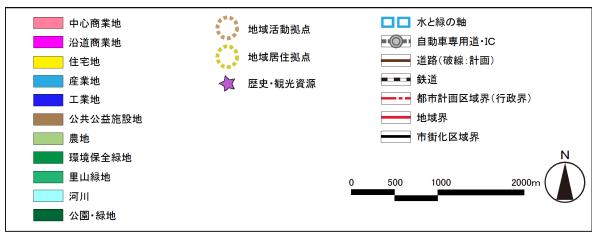


## 【基本目標】

- □ 水田と集落の住環境を保全する地域づくり
- □ 子育て世代から高齢者まで誰もが安心して暮らせる地域づくり
- □ 吉田川の災害防止による安全・安心な地域づくり

## 【地域づくりの方針図(幡谷・竹谷・北小泉地域)】





# (4) 地域づくりの方針

# 1) 土地利用に関する方針

区分	基本方針
住宅地	<ul> <li>◆農地の保全と農業集落地の居住環境の保全に努める。</li> <li>◆コミュニティの維持に向けた子育て世代の居住環境の保全・創出に努める。</li> <li>地域居住拠点</li> <li>◆JR品井沼駅前における良好な居住環境の保全・整備に努めるとともに、本地域の人々の生活の中心となる拠点として、利便施設等の誘導を図る。</li> <li>地域活動拠点</li> <li>◆北小泉地区の中心集落地等を地域活動拠点とし、公共公益施設等の適切な維持管理に努める。</li> </ul>
農地	◆豊かな田園地域としての農業生産環境の保全を図る。
里山緑地	❖山地部の緑地は、原則、保全を図り、良好な自然環境に資する環境の維持・向上に努める。

# 2) 都市施設等に関する方針

-/ A	2) 御巾他設寺に関する万軒	
	区分	基本方針
交通施設	道路	<ul> <li>広域幹線道路</li> <li>◇国道346号は、松島町と大崎市、涌谷町及び登米市等に至る広域幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>◇主要地方道鹿島台鳴瀬線は、大崎市鹿島台地区と東松島市鳴瀬地区を連絡する広域幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>地域幹線道路</li> <li>◇県道竹谷幡谷線は、国道346号と主要地方道鹿島台鳴瀬線を連絡する地域幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>◇県道大和幡谷線は、国道346号から県道竹谷幡谷線に接続し、大郷町方面に至る地域幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>◇幹線農道は、国道45号と県道竹谷幡谷線を接続し、本地域の竹谷地区と北小泉地区を連絡する地域幹線道路としての機能維持に努める。</li> <li>◆草路</li> <li>◇地域内の生活道路については、狭あいな道路の解消や歩行者の安全通行の確保を図る道路空間の整備を図る。</li> <li>◇道路の草刈りや清掃活動の実施など、地域住民との協働による維持管理に努める。</li> </ul>
	公共交通	<ul> <li>鉄 道</li> <li>❖JR品井沼駅のバリアフリー化と町営バスとの接続機能の向上に向けた検討を進める。</li> <li>バ ス</li> <li>❖町営バスは、地域住民の利用状況に応じた運行本数やルート等の見直しを検討するなど利便性の向上に努める。</li> <li>❖高齢化の進行や定住促進に対応するため、地域住民に利用しやすい公共交通のあり方等について検討する。</li> </ul>
公園	公園・緑地	<ul><li>❖地域生活拠点や地域活動拠点等における公園等の整備検討を行う。</li><li>❖地域住民との協働による公園整備・美化に努める。</li></ul>
公園地	歴史・観光資源	❖品井沼干拓と高城川の歴史に関わりの深い元禄潜穴(穴頭)、品井沼干 拓資料館などの歴史・観光資源の保全と有効活用を図る。
河川		❖吉田川については、住民等との協働により水質保全に努める。
下水道	<u> </u>	❖合併処理浄化槽設置の促進を図る。

## 3) 都市景観に関する方針

#### 基本方針

❖緑豊かな森林景観と里地・里山集落の保全・継承を図る。

## 4) 都市防災に関する方針

## 基本方針

- ❖吉田川は河川氾濫等の災害防止を図るため、適正な保全・整備を促進する。
- ❖住宅等の建築物の耐震化を促進し、地震等に強いまちづくりを推進する。
- ❖山地に隣接する集落の保全を図るために、地震や豪雨による土石流、地すべり、斜面崩壊等の災害を防止するための急傾斜地崩壊対策や砂防事業を促進する。
- ❖安全安心な教育環境の整備に向けて、第五小学校など老朽化した教育施設の改修に努める。